

2023 年度法政大学中学校卒業式 校長式辞

春の息吹を感じるこのよき日、卒業式を迎えられた皆さんに、祝福の言葉を贈ります。保護者の皆様にも感謝をこめてお祝い申し上げます。本日は学校法人・法政大学を代表して、人間環境学部長 松本 倫明（まつもと ともあき）先生にお越し頂いております。PTA 会長 荒井 康洋（あらい やすひろ）様をはじめ役員の皆様を来賓としてお迎えし、卒業式を挙げていきますことに感謝申し上げます。

さて、皆さんは好きなことに没頭し自分らしく語れるものを得ています。皆さんが中学 2 年生の時に修辞法を意識して創った詩の一節を紹介します。その修辞法とは、見慣れた事柄を非日常としてとらえ直し新鮮さを取り戻す効果があります。では紹介します。

人は、それに夢中になる
人は、それに楽しさを感じる
人は、そのプロとやらの憧れる
人は、そのせいで泣く日もある

不思議なものだ
ただボールを
蹴るだけだったのに
ただの布、ただのゴムの塊を
蹴るだけだったのに

この詩から無心に取り組んだことが伝わります。皆さんは悩みや葛藤と向き合い成長しました。時には誰かの相談役にもなったと思います。人は、○○できない自分がダメと思いがちです。その時は「Don't be too hard on yourself.」（自分を責めないで、あなたは悪くない）と話を聞きましょう。これからも知識をアップデートして対等な人間関係を築きましょう。

皆さんの高校生活がわくわくドキドキ、学び多きものとなるよう願って、式辞といたします。

2024 年 3 月 16 日
校長 松浦麻紀子